

第11回 同志社大学「新ビジネス」フォーラムを開催

日時

2025年3月19日（水）

開催形式

オンライン開催

3月19日（水）に、第11回「新ビジネス」フォーラムを開催しました。本フォーラムは、昨年度までは首都圏の企業様との接点を目的とし、本学の東京サテライト・キャンパスにて開催しておりましたが、さらにその接点を全国規模に広げたいという観点から、今年度はオンラインで開催しました。

今回は、「未来へ導くデータの力」と題し、主に「データサイエンス」分野における研究シーズについて、文化情報学部より1名、理工学部より1名、商学部より1名の計3名の教員が登壇し、それぞれの研究内容や研究成果を紹介しました。

はじめに、文化情報学部の河瀬 彰宏准教授より、「化粧品選択とメイクアップ行動に関するデータ解析の最前線」をテーマに、メイクアップ工程を体系的に記録・分析したデータベースを活用し、化粧品選択とその使用方法の相互作用を解明する最新の研究成果を紹介しました。また、メイクアップ工程の視覚化やユーザーのパーソナルカラーに基づく製品推奨システムの開発といった新たな技術を取り入れた取り組みについても紹介しました。

次に、理工学部・桂井 麻里衣准教授より、「学術データの大規模分析～共同研究のパートナー探索に向けて～」をテーマに、論文や特許などに関する学術データをデータベース化し、それを機械学習することで所望の情報を抽出できる手法について紹介しました。さらにそのビジネスへの適用可能性や、産学連携状況を可視化することによる研究トレンドの解明手法、研究者の検索をよりスムーズに行えるデータマイニングを活用したインターフェースの開発について解説しました。

最後に、商学部・中岡 孝剛准教授より「我が国M&A市場に関する定量分析」をテーマに、企業の命運をかけた経営上の大きな意思決定であるM&Aについて、研究室で行っている研究内容を紹介するとともに、過去に大手外資系証券会社と共同で、有価証券報告書の文字情報や特許情報などの定性データも含めた分析と、それを基にM&Aの動機や実施後のパフォーマンスの決定要因の解明を試みた、我が国のM&A市場の研究成果の一部を紹介しました。

当日は、視聴者の方から多くのご質問やご意見をお寄せいただき、盛況なフォーラムとなりました。

■当日の講演の内容は、YouTubeでもご覧いただけます。

[講演 1]
河瀬先生



[講演 2]
桂井先生



[講演 3]
中岡先生





≪ 講演者集合写真 ≫



(上段、河瀬彰宏准教授、下段左より中岡孝剛准教授、桂井麻里衣准教授)